



バイオディーゼル燃料の導入に向けた実証試験開始！

JR九州グループでは、地球温暖化の原因となるCO₂排出量の削減に加えて、資源循環や廃棄物の削減にも取り組み、環境負荷の低減に努めています。

その一環として株JR博多シティの飲食店などから排出される廃油を回収し、そこから精製された100%バイオディーゼル燃料を軽油に代わる燃料として当社が保有する気動車への導入を検討しています。今回、エンジン単体の試験など必要な検証が完了したため、営業列車で実証試験を開始いたします。

実証試験の概要

- | | |
|----------------------|---|
| 2022年度 | ・100%バイオディーゼル燃料を用いたエンジンの単体試験実施 |
| 2023年9月末～ | ・100%バイオディーゼル燃料を用いた走行試験を2日間実施 |
| 2023年10月 ～2024年2月 | ・営業運転での走行試験を実施(1日約100kmの走行を想定し、燃料消費量の変化や安全性を確認) |

実証試験の内容

走行試験

- ・線区 筑豊本線、後藤寺線
- ・期間 2023年9月28日、10月2日(予定)
- ・試験車両 キハ147形式(1両)

営業運転

- ・線区 筑豊本線、後藤寺線
- ・期間 2023年10月4日
～2024年2月(予定)
- ・試験車両 キハ147形式(1両)

協力会社

西田商運株式会社

